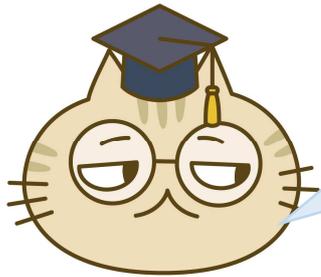


ちょっと一息その②。公的年金の話

今回は「公的年金」の話なんですよ？
私も、昔から「年金」って全部一緒と
思ってたからねえー。



ほんとに。。。
若い時は、「年金ってみんなもらえるものでしょ？」
なんて言ってたもんね。あの頃よりは理解できてるんじゃない？

そうだったわねえー。
若い頃は、60歳の自分なんて全然想像
出来てなかったし、考えてもなかったわ。



まあね。若いうちはほとんどの人がそうかもしれない。
「企業年金」も「公的年金」も一緒って思ってたんじゃないかな？
あと、「確定拠出企業年金」があるってことも知らないよね。

うんうん、本当にそうだと思う。
若い時は、そんなことに興味ないからねえ。
今になって、色々焦ってる、私・・・。



そうだね。今、まさに60歳を迎えて焦っているんだよね。
こうなることは、想定内だから驚きもしないけども・・・。
第1回の「DBトーク」をちょっとおさらいしてみようか？

「公的年金」のしくみって何だっけ？



君が若かりし頃に見せた、体系図だよ。覚えてる??

まず、3階部分から見ていくよ。

退職金の一部である企業年金＝「企業型確定拠出年金」＋「企業年金」と、自分で積み立てていく年金＝「個人型確定拠出年金(イデコ)」だね。

年金制度の体系図



何となく、今思い出してきた。私、3階建ての豪邸に住んでるの！
3階部分は、会社が積み立ててくれてる「企業年金」だったわね。



そうそう。君は誰もがうらやむ、3階建ての豪邸に住んでるんだよ。
そして次に、「公的年金」。1階は20歳以上の全国民が加入する「国民年金」
2階は君のような、会社員や公務員が加入する「厚生年金」になっていたよね。



基本的に会社員は、
2階建てだったね。
私は3階建て♪



そうそう、以上でこれから受け取ることになる年金については理解したよね。
次に気になるのは、「いつ受け取るか」と「いつから受け取れるのか」
になってくるよね？企業年金は60歳で必ず受け取り方を決めるんだけど・・・

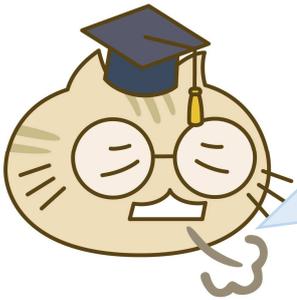
*ノーリツ企業年金基金は、「企業年金（確定給付型年金）」です。

あ、そうか……。『企業年金』が60歳からだから勘違いしてた。『公的年金』は65歳からだったわね。



『年金』は、全部一緒だと思ってるから、手続きも一緒に済ませると勘違いしてしまう人が多いんだよ。年金ごとに、それぞれ書類も違えば提出するところも違うから、整理しておかないと忘れてしまうよね。

そうだよー。
『企業年金』の取り方ばかりに気を取られてた。
『公的年金』の書類が来てたような気がする！！



やっぱり……。『公的年金』のおさらいをして正解だったね。
基本的には、65歳から『公的年金』の給付が始まるんだけど
企業年金と違い、繰り上げや、繰下げ、なんてことも出来る
『公的年金』の取り方も少しずつ考えていけるといいと思うよ。

なんか、よくテレビでそんな特集してるわ。
『国から受け取る年金』 = 『公的年金』。
今後もしばらく働くけど、65歳までに仕事を辞めて
しまったら、『公的年金』が必要になるかも…。



そういうこともあるかもしれないよね……。
『公的年金』をまだまだ必要としてなくても、『働けなくなったら
どうしよう』とか、考え出すとすごく不安になるよね……。
『企業年金の事ばかり』教えてしまったけど、『公的年金』の事も
老後の備えとして勉強しておいた方がいいと思うよ。

*この内容は、2024年7月現在の『ノーリツ企業年金基金規約』に基づき作成しています。

『企業年金と公的年金』

『退職金』を受け取るのと同時に、企業年金の受け取り方をやっと決めたとし、
『公的年金』は65歳になったら考えればいいのか？とつい後回しにしがち。
国から受け取る年金を、もう少し学習していきましょう♪次回に続く……。